

平成 30 年度川辺町当初予算の概要について

【総括概要】

「教育・子育て」「防災・災害対策」「定住促進」を重点施策として予算編成を行った結果、平成 30 年度川辺町一般会計、特別会計及び公営企業会計を合わせた当初予算総額は 78 億 5,401 万円（対前年度比 1 億 5,037 万 8 千円減△1.9%）で、うち一般会計予算は 48 億 1,600 万円（対前年度比 1 億 1,900 万円増+2.5%）としています。

【一般会計予算概要】

歳入は、町税 12 億 2,644 万 9 千円（対前年比 43 万 9 千円減△0.036%）、地方交付税 13 億 3,000 万円（対前年比 6,000 万円減△4.3%）、国庫支出金 2 億 9,205 万円（対前年比 4,969 万 5 千円減△14.5%）、県支出金 3 億 2,573 万 1 千円（対前年比 7,732 万 5 千円増+31.1%）、町債 3 億 8,120 万円（対前年比 2,580 万円減△6.3%）となっているほか、財政調整基金、ふるさと納税を原資としたまちづくり基金などから 4 億 3,812 万 2 千円を繰り入れることとしています。

歳出は、民生費 13 億 6,433 万 1 千円（対前年比 2,706 万 5 千円増+2.0%）、農林水産業費 2 億 4,293 万 7 千円（対前年比 9,588 万 6 千円増+65.2%）、消防費 3 億 8,998 万円（対前年比 1 億 2,801 万 4 千円増+48.9%）、教育費 5 億 5,915 万 8 千円（対前年比 9,149 万 4 千円増+19.6%）等が増加し、総務費 8 億 4,125 万 7 千円（対前年比 1 億 7,172 万 7 千円減△17.0%）、衛生費 2 億 6,274 万 4 千円（対前年比 329 万 6 千円減△1.2%）、土木費 6 億 8,856 万 2 千円（対前年比 2,177 万 6 千円減△3.1%）、公債費 3 億 5,756 万円（対前年比 3,162 万 7 千円△8.1%）は減少しています。

歳出の主な事業につきましては、川辺町第 5 次総合計画に掲げた 6 本の体系に沿って以下のとおりとしていますのでご参照ください。

【美しく安らぎのあるまちづくり】

防災情報の通信手段である防災行政無線デジタル化のための「防災行政無線更新事業」に 1 億 6,358 万 5 千円、災害発生時の避難所内での生活環境を整えることを目的としてプライベートテント、マットロールなどの資材を調達する「避難所内環境整備用品購入」に 366 万円、「消防ポンプ積載車購入」に 893 万 8 千円などを計上しています。

【誰もが安心して暮らせるまちづくり】

子育て世帯の負担を軽減するために、現在中学修了年度まで支援している医療費助成について、18 歳まで拡大して実施する「福祉医療助成事業（新規 16 歳～18 歳まで）」に 4,532 万 3 千円（659 万 9 千円）、園児を地震から守るため「第 3 こども園地震対策工事」に 850 万円、町内巡回バスの運行を見直しして、美濃加茂市までの延長運行を社会実験的に実施する「福祉バスやすらぎ号運行委託事業」に 1,551 万 1 千円と運行のための車両として「福祉バス購入事業」に 458 万 6 千円、放課後の子どもの居場所として運営している児童クラブを現行 3 箇所から 4 箇所に増やして実施する「児童クラブ運営事業」に 3,018 万 9 千円、車いすを利用する方への支援のため、「ハンドル形電動車いす購入助成事業」に 30 万円、高齢者の活躍の場であるシルバー人材センターの支援として「シルバー人材センター補助事業」に 163 万 7 千円などを計上しています。

【みんなで学び合うまちづくり】

町内 2 小学校のプール改修などを行う「小学校施設設備整備改修事業」に 4,219 万 3 千円、将来の小学校建設に備えて「小学校建設基金積立」に 3,545 万 4 千円、町民の新たな健康づくりの場として整備する「大洞グラウンド整備工事」に 100 万円、子ども達へ安定した給食の供給を維持するため、厨房施設設備の改修費用として「給食センター施設設備維持修繕」に 5,678 万円などを計上しています。

【快適に暮らすことができるまちづくり】

町内の空き家を活用し、移住定住を推進するため「移住定住推進事業」に573万1千円、定住人口の増加を目指し、住宅新築・建替を助成する「川辺町定住促進助成金事業」に750万円、町道の歩道新設や通学路の安全対策、橋りょう点検・修繕工事など「防災安全交付金事業(国庫補助事業)」に7,080万円、「地籍調査推進事業」に2,006万6千円、街かどのコミュニケーションの場として公園スペースの構想を立てる「ポケットパーク構想立案」に330万5千円などを計上しております。

【新たな活力をおこすまちづくり】

森林環境税を活用し、新たな観光資源として遠見山の登山道整備、八坂山と鬼飛山を結ぶ通路の整備などを行う、「清流の国ぎふ市町村提案事業」に1,124万8千円、水源涵養機能の向上や土砂流出防止、野生鳥獣による被害軽減などのために間伐を行う「里山林整備事業」に1,536万7千円、小規模事業者の創業や設備投資を支援する「小規模事業者支援事業」に225万円、地元雇用を行った事業者へ助成を行う「雇用促進助成事業」に100万円などを計上しています。

【共に考え行動するまちづくり】

町の貴重な自主財源、観光・特産振興・町のPRの費用として期待するふるさと納税については、2億円を計上。その謝礼品等に要する費用「ふるさと川辺応援事業」として9,996万2千円、町づくりの指針となる川辺町第5次総合計画の後期基本計画を策定する「第5次総合計画策定事業」に469万6千円、在住・在勤の方への男女の出会いの場を提供する「結婚支援事業」に45万円などを計上しています。

【特別会計予算概要】

各保険関係の特別会計のうち、国民健康保険事業特別会計の予算総額は10億2,587万円(対前年度比2億4,645万1千円減△19.4%)で、国民健康保険制度が変わり、財政主体が県になったことにより、共同事業に係る費用が不要となったため前年度対比で減額としています。

介護保険特別会計は8億8,447万6千円(対前年度比1,394万8千円減△1.6%)で、認定者数は引き続き増えているが、認定の構成が、要介護が減少、要支援が増加し、介護報酬単価が下がっていること、第6期介護事業計画の最終年である昨年は、基金への積立を計上したが、本年は計上していないことなどから減額としています。

後期高齢者医療特別会計は1億4,397万9千円(対前年度比1,447万1千円増+11.2%)で、被保険者数の増加に伴って医療費が増加するとして増額しています。

下水道事業特別会計は6億1,150万円(対前年度比2,115万5千円増+3.6%)で、マンホールトイレ設置事業、下水道設備(ポンプ等)の改修費用などの増により増額としています。

農業集落排水事業特別会計は3,350万円(対前年度比213万6千円減△6.0%)で、処理場施設維持管理に要する費用などの減により減額としています。

【公営企業会計予算概要】

水道事業会計は、3億3,868万5千円(対前年度比4,246万9千円減△11.1%)で、平成28年度から15年計画で実施している「重要給水施設配水管整備事業」の工事費が減になるため減額としています。